別紙 （参考様式）

令和5年度 体育に関する指導改善計画

東広島市 立 御薗宇 小学校

令和4年度の重点課題

【情緒面での課題】
○男子
・運動（体を動く遊びを含む）やスポーツをすることが，好き・やや好きと答える児童の割合が94%である。（前年比2.1%up）高学年に上がるにつれて，あまり好きではないと答える児童の割合が増加傾向にある。
○女子
・運動（体を動く遊びを含む）やスポーツをすることが，好き・やや好きと答える児童の割合が91%である。（前年比2%up）やや嫌い，嫌いと答える女子の割合はどの学年にもおり，男子より3.2%多い。
○全体
・体育の授業や行事に目標をもって運動し，できるようになった児童が93%。あまりできなかったと答える児童が7%いる。また，学年によって差がみられる。運動（体を動く遊びを含む）やスポーツをすることのアンケートの結果とほぼ同じ割合となった。

【体力面での課題】
○令和3年度・令和4年度共に全国・県平均を下回っているもの（第5学年）
・男子，女子共に，「反復横跳び」である。
・昨年度と比べるとすべての項目において上昇傾向である。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○体力を高めるため，月1回体育朝会を実施した。

○保健安全部を体力推進委員とし，単元の系統性（水泳・マット運動・跳び箱運動）を整理し，6年間の学びをつなげる授業実践を行うと共に，児童と目標を共有した。

○12月に体育委員を中心に「ドッジボール大会」を開催した。

○児童の運動量を高めるため，ロング昼休憩を行った。

○年に3回，養護教諭からの保健指導を全児童に対して行い，規則正しい生活習慣を送ることの重要性を理解させた。

○食育を通して，食の大切さを伝え残菜率年間2%以下を目指す取組を実施した。

令和5年度新体力テストの結果　県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和3年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.50	20.78	34.57	45.38	57.84	9.12	150.16	23.65	57.36

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.65	20.35	37.08	43.54	42.35	9.42	153.65	15.23	59.88

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果　県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.50	20.78	34.57	45.38	57.84	9.12	150.16	23.65	57.36

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.65	20.35	37.08	43.54	42.35	9.42	153.65	15.23	59.88

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	70.3	24.3	5.4	0.0

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.67	29.63	3.70	0.00

学校独自の意識調査

遊びのルールを守り，友だちを大切にして外遊びをすることができる。

	できる	どちらかといえできる	どちらかといえできない	できない
1年	86%	9%	3%	3%
2年	85%	13%	3%	0%
3年	78%	21%	0%	1%
4年	81%	18%	2%	0%
5年	71%	27%	2%	0%
6年	74%	26%	0%	0%
合計	98%		2%	

重点課題

【情緒面での課題】
○男子
・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが，好き・やや好きと答える児童の割合が94%である。（昨年同値）高学年に上がるにつれて，やや嫌いと答える児童の割合が増加傾向にある。
○女子
・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが，好き・やや好きと答える児童の割合が95%(4%up)である。
○全体
・遊びのルールを守り，友だちを大切にして外遊びをすることができる児童が98%，できないと答える児童が2%いる。

【体力面での課題】
○全国・県平均を下回っているもの（第5学年）
・男子は「立ち幅跳び」，女子は「長座体前屈」である。
○全体
・1日の活動時間が30分未満の児童が26%である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○体つくり運動を重視するとともに，筋力・柔軟性に繋がる補強運動を重点的に取り入れる。また，保健安全部を中心に，カリキュラムマネジメントを行い，体育的行事との関連を意識して，効果的に運動能力を高められるように単元構成の見直しを図る。
○保健安全部を体力推進委員とし，授業前の予備運動を系統的に整理し授業に生かす。
・マット運動…ゆりかご，背支持倒立，壁登り逆立ち，ブリッジ等
・跳び箱運動…かえるの足打ち，かえるの逆立ち，踏み越し跳び，またぎ乗り・下り等
・鉄棒運動…ぶら下がり，ふとん干し，跳び上がり・跳び下り，前回り下り，足抜き回り等

体育の授業以外で行う取組内容

【体力向上】
○常時，休憩時間に外遊びをするように，担任や体育委員会を中心に呼びかけを行っていく。
○毎月第一・三月曜日をロング昼遊びとして，遊ぶ機会の確保を行う。
○体力（敏捷性・調整力）の向上の為，第二火曜日の体育朝会において，全校でなわとびや鬼遊びに取り組む。
【生活習慣】
○年に3回，養護教諭からの健康指導を全児童に対して行う。
○食育を通して，食の大切さを伝え，残菜率年間2%以下を目指す取組を実施する。
○保健だよりの中に，本校の運動面における課題や家庭でできる運動を紹介するなどして家庭への啓発を行う。

令和6年度の重点目標値

○運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが，好き・やや好きと答える児童の割合を95%以上にする。
○「長座体前屈」「立ち幅跳び」を全国平均以上にする。
○1日の活動時間が30分未満の児童の割合を25%以下にする。